



花の中の花

イランイラン



緊張を取り除き、
幸福感を与える作用があります。

イランイランは、タガログ語（現在のフィリピン語）のアランイランに語源をもつ言葉で、その意味は「花の中の花」。やさしい黄色の花は、南国の女性に愛され、よく髪飾りにも使われます。濃厚なフローフル調の香りを持つことから、香水の原料として、古くから珍重されてきました。

原産地は東南アジアの熱帯雨林ですが、現在香料用の栽培は、インド洋のマダガスカル島やコモロ島で行われ、主な生産地となっています。イランイランはバンレイシ科の熱帯常緑の高木で、野生では十五〜三〇メートルになりますが、生産地では、花を採取しやすいように、二〜三メートルに剪定されています。

イランイランには黄色、藤色、ピンクなどの花色がありますが、香料として栽培されるのは黄色の種類。線形の花弁を持つ花は房状に垂れ下がって咲き、咲き始めは緑色で香りも弱いのですが、花色が黄色に変わる頃には、エキゾチックで濃厚な香りを放ちます。

イランイランは一年中花が咲きますが、最盛期は五月と十一月〜十二月。成熟した花は、香りの強い明け方に摘み取られ、水蒸気蒸留で精油が採取されます。



の香りと調和するため、名だたるの香りにも、イランイランの精油が効果的に使われています。また精油には、血圧を下げる作用、不安や緊張を取り除き、幸福感を与える作用があるため、アロマテラピーなどにも多用されています。

（今号の表紙「フクジュソウ」）

●話題

認証ブランド、堺技衆

堺市は平成十八年に政令指定都市になりましたが、堺の街には長い歴史に育まれた伝統産業や、最先端技術を有する企業まで、たくさんのおもしろい企業があります。これらの優れた企業に対して、堺商工会議所がそのすばらしさを認証したのが、堺ブランド「堺技衆」です。「伝統を守りながらも新しい香りに挑戦する『優秀企業』として、この『堺技衆』に梅栄堂も認証されました。

【残香飛】「残香飛ブラック」が人気

RKB毎日放送の「探検！九州。高田課長の街ぶら」は、出会いを求めているんな街を歩き、フレッシュな話題を楽しく伝える情報番組。第一回は、「夏

ト。「香り米」などとともに、話題の線香として「残香飛」シリーズが紹介されました。

梅栄堂通信「特集号」

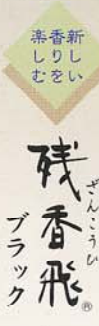
梅栄堂通信は今号で五十号を迎え、これまでの内容を一つ

だ！祭りだ！戸畑」と題し、「祇園大山笠」の準備でにぎわう北九州市の戸畑地区を訪問。祭りを前にして、街は華やかな雰囲気。そんな中、レポーター役の高田課長が戸畑駅前の中商店街で、「ご利益があると評判になっている観音様」を発見！その魅力に導かれて中に入ると、そこは仏具店（お仏壇のよーかどう）でした。

さっそく目にとめたのが「残香飛」と「残香飛ブラック」。コーヒーマスターの香りに納得し、「こっちは甘い！こっちは苦い！」とたいそうお気に入りでした。また、ニッポン放送RNS系列の黒木瞳の「ホットGoing!」では、黒木瞳さん自らライフスタイルの変化によって誕生した新しい香りの商品をレポーターに

にまとめた「特集号」が発刊されました。是非ご覧ください。少しでも楽しい内容になるよう努力して参りますので、今後とも梅栄堂通信をどうぞよろしくお願いたします。

●商品紹介



新しいアロマをお試し下さい。

新しい
香りを
楽しむ

残香飛
ブラック

ヒット商品となりましたお線香「残香飛」をご愛顧いただき、ありがとうございます。

今回ご紹介させていただきます残香飛「ブラック」は豊かな香りはそのままに、ブラックコーヒーマスターの「ほろ苦い香り」をプラスしたお線香です。

コーヒーマスターには六百種類以上の香気成分が含まれ、右脳に働きかけて情緒を安定させるなど、数々の薬効が認められています。おくつろぎのひととき、残香飛「ブラック」で贅沢な時間をお過ごし下さい。

